

2026 SUPER FORMULA RACE REPORT



Sportsland SUGO

8.08 [sat] -09 [sun]

[place] スポーツランドSUGO（宮城県柴田郡村田町）

[weather] sat 曇り sun 曇り時々雨

Rd.1-2 MOBILITY RESORT MOTEGI

Rd.3 AUTOPOLIS

Rd.4-5 SUZUKA CIRCUIT

Rd.6-7 FUJI SPEEDWAY

Rd.8 Sportsland SUGO

Rd.9-10 FUJI SPEEDWAY

Rd.11-12 SUZUKA CIRCUIT

2026 SUPER FORMULA 東北大会 Rd.8
スポーツランドSUGO (3.586km)
2026.08.08-09

ご協賛各社御中

日頃より大変お世話になっております。

TEAM GOH（チームゴウ、代表：池田和広、監督：芳賀美里）は、8月8日～9日、宮城県のスポーツランドSUGOで開催された全日本スーパーフォーミュラ選手権第8戦東北大会に出場し、18位でレースを終えました。



シーズン最高番手をマークした予選結果をグリップ不足で決勝に活かしきれず

8日(土)に行われた予選では、フリー走行から大きく方向性を変えることなく臨み、赤旗のリスクを避けるため、2回アタックできるよう戦略を立てました。1回目のアタックでは、数周走行した皮むきタイヤで挑み、今季もっとも良い感触を得られました。



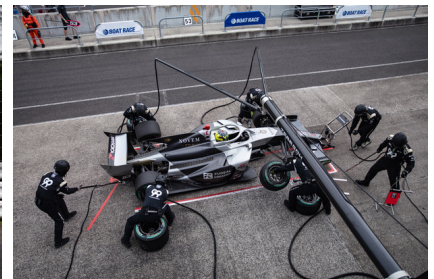
車のポテンシャルは確実に高まっており、2回目のニュータイヤで更なるタイムアップを狙いましたが、タイヤを上手く作動温度まで上げられず、1コーナーでコースアウト。Q2進出まで0.34秒足らずのQ1 B組 7位（6位以上がQ2へ進出可能）となり、決勝は13番手からのスタートとなりました。

RACE Rd.8 予選13位 決勝18位 周回数：51 天気：曇り 気温：26.0 路面：35.0

8月9日(日)決勝時のスポーツランドSUGOは曇り、ポツポツとした雨予報もある中でスタートしました。序盤のスタートからグリップ不足に苦しみ、7周目の1コーナーで他車をオーバーテイクしようとしたところコースアウト。無事コースには復帰できましたが、24番手までポジションを落とすこととなりました。



13周目終わりからピットウィンドウがオープンとなりタイヤ交換が可能となりますが、ステアアウトを選択。27周目で2台のマシンがコース上にストップし、セーフティーカーが出動するタイミングでピットインし、タイヤ交換を実施しました。その後、35周目にレースを再開し、再開とほぼ同時に小雨が降り始めましたが、路面が大きく濡れるほどの雨量ではないため、ドライタイヤのまま走行を続けました。



ただ、レース序盤から続くグリップ不足に苦しみ、なかなかオーバーテイクできない状況が続きました。45周目の最終コーナーからストレートにかけて、一定時間エンジンのパワーが上昇し、前走車を追い抜きしやすくなるスーパーフォーミュラ独自の仕組みであるOTS（オーバーテイクシステム）を使用しながら20番手にポジションアップ。最終的に他チームの2台のマシンがペナルティを課せられたことで18位でレースを終えました。



ドライバー チャーリー・ブルツ選手のコメント (Rd.8)

「予選に向けては自分たちのプランを明確に持って臨み、1回目のアタックでは今季ここまでで一番いい感触を得ることができました。クルマのポテンシャルは確かに感じられただけに、2回目のランでタイヤをうまく作動させられず、Q2進出につなげられなかったことは悔しいです。ただ、方向性としては手応えがありましたし、クルマの競争力は見えてきていました。」



「決勝は、スタート自体は悪くありませんでしたが、序盤から全体的にグリップ不足に苦しみ、厳しいレースになりました。周囲のクルマと比べてタイヤのフィーリングが乏しく、レースを通して思うようにペースを上げることができませんでした。戦略面ではチャンスもありましたが、それを結果につなげるだけのグリップが足りなかったという印象です。難しい一戦になりましたが、今回見えた課題を整理して、次戦に向けて改善していきたいと思います。」



チーフエンジニア 柏木良仁のコメント (Rd.8)

「予選に向けては、フリー走行で見た課題に対して大きく方向を変えることなく、正常進化の範囲でアジャストして臨みました。菅生は赤旗のリスクも高いため、2回アタックできる前提で組み立てましたが、2セット目のニュータイヤで十分にウォームアップを進められず、結果としてQ2進出には届きませんでした。車両全体の方向性としては悪くなく、タイヤをうまくレンジに入れられれば、もう一段タイムを伸ばせる感触はありました。」



「決勝はスタート直後からタイヤのウォームアップに苦しみ、序盤のポジションダウンが厳しい展開になりました。戦略としては雨を予想していたこともあり、セーフティカーのタイミングを見据えて引っ張り、ピットインタイミングの判断自体は悪くなかったと思いますが、その後の展開も含めて結果には結びつきませんでした。レースペースそのものにも課題があり、ポイント獲得は簡単ではない状況でしたが、今回見えたタイヤの使い方やレース運びの課題を整理し、次戦に向けて改善していきたいと考えています。」



8/8(土) 09:00-10:55 Rd.8 FP1

Best Time : 1'06.798 (**19位**/24台)

Gap : 1.018

8/8(土) 14:35-14:45 Rd. 8 予選Q1 Gr.B

Q1 Time : 1'05.996 (**13位**/24台)

8/9(日) 09:30-10:00 Rd.8 FP2

Best Time : 1'08.271 (**24位**/24台)

Gap : 1.115

8/9(日) 14:20-[51周/最大75分] Rd.8 決勝レース

Best Time : 1'08.140 (**18位**/24台)

Delay : 44.872

第8戦SUGO決勝日に芳賀監督の故郷大槌町立吉里吉里学園の生徒たちをご招待

芳賀監督の出身地である岩手県大槌町は、東日本大震災では芳賀監督の実家も津波の被害に遭ったほか、2026年4月の大規模山林火災では、芳賀監督の実家近くまで火の手が近づくなど、度重なる災害に見舞われています。「大きな災害を経験した故郷への感謝と、地域の未来を担う子どもたちに特別な体験を届けたい」という思いから、TEAM GOHのスポンサーであるフュディアルクリエーション様のご支援のもと、本企画を実施しました。



今回の企画では、スーパーフォーミュラで毎戦行われているアウト・オブ・キッザニアで子供たちが職業体験をしたり、TEAM GOHのピットで実際にチャーリー・ブルツが搭乗する車両の作業を見学、チャーリー・ブルツ選手本人との交流も実施。決勝レースではグランドスタンドで観戦し、ドライバー・監督・チームスタッフなど数多くの人々が一つの目標に一丸となって挑戦している姿を見せることができました。ご協力いただきました関係者の皆様に、チーム一同心より感謝申し上げます。

※写真のダウンロードはこちら

以下、写真・ロゴ使用ルール

- ・株式会社セルブスジャパン（以下弊社）の承諾のもとチームのロゴ、写真を使用することが出来ます。尚、写真とロゴは、契約期間が終了しても使用することができます。
- ・商業利用（広告・販促・SNSキャンペーン等）する際は、事前に弊社へご連絡をお願いいたします。
- ・ご協賛企業様がチームより提供を受けた写真・ロゴ・各種素材については、いかなる第三者（他企業・メディア・代理店等）への再提供・再配布はご遠慮願います。
- ・制作物の作成を目的として外部制作会社へ素材を共有する場合は、利用目的を「制作業務」に限定する場合のみ提供可能です。

株式会社セルブスジャパン 営業 小野尊之（ono-takayuki@servus.cc）